

ベナン月報(2016年3月)

主な出来事

【内政】

- ベナン大統領選挙が実施され、パトリス・タロン候補が決選投票でリオネル・ザンス首相を破り、次期ベナン共和国大統領となった。
- UEMOA, ECOWAS, アフリカ連合及び国連などから派遣された各選挙監視団は、今次大統領選挙の透明で平和裏の実施を高く評価し、ベナン国民の民主主義の精神に敬意を表した。

【外政】

- 22日、元開発大臣のドウ・スザ国民議会議員がヤイ大統領により ECOWAS 委員長に指名された(当館注:ベナンは2016-2018年の ECOWAS 委員長国。ECOWAS による正式な承認は今後行われる)。

【経済】

- 29-31日、ナイジェリアにおけるガソリンの不足から生じた違法ガソリン価格の高騰により、正規のガソリンも手に入りづらい状況が続く、各地のガソリンスタンドには長蛇の列ができた。

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、La Nouvelle Tribune 紙および、Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 2月26日の臨時閣議で、バトコ(M.Ousmane BATOKO)最高裁判所長官の再任が決定された。新たな任期は2021年2月27日まで。(1日, La Nation 紙)
- ・ 11日、ベナン大統領府は内閣改造を行ったことを発表、3名の現職大臣が国務大臣に昇任、6名の新大臣が入閣した。引継式は14日に行われる。(14日, La Nation 紙)

【大統領選関連】

- ・ 2月25日の閣議で決定された携帯電話を始めとした通信機器の投票所への持ち込み禁止に関し、2日、CENA は投票用紙記入ボックスへの持ち込みのみを禁止する旨コミュニケを発表した。(3日, La Nation 紙)
- ・ 3日、ECOWAS 選挙監視団は、136名の監視員をベナン各地に配置する旨発表した。(4日, La Nation 紙)
- ・ 3日トラオレ(M.Diocounda TRAORE)元マリ暫定大統領が代表を務めるアフリカ連合の選挙監視団が憲法裁判所を表敬した。(4日, La Nation 紙)
- ・ 6日、ベナン各地で概ね平和裏に第一回投票が実施された。一方、選挙人カードの配布は一部地域において完了しておらず、CENA は5日夜、国民身分証でも投票できる旨発表した。一部投票所では混乱が見られた。(7日, La Nation 紙)

- 7日, ECOWAS 選挙監視団は第一回投票に関し, 準備不足という大きな問題点はあったものの, 選挙は全体的に自由かつ透明に行われ, 信頼に足るものであるという評価を発表した。(8日, La Nation 紙)
- 8日, CENA は第一回投票の大勢結果を発表した。1位はザンス(M.Lionel ZINSOU)首相, 2位はタロン(M.Patrice TALON)候補。(8日, La Nation 紙)
- 8日, アフリカ連合及び UEMOA 選挙監視団は, 第一回投票は平和裏かつ透明に行われたとし, ベナン国民の成熟した民主主義の精神に敬意を表した。(9日, La Nation 紙)
- 9日, 第一回投票の在外ベナン人選挙票がコトヌ空港に到着した。(10日, La Nation 紙)
- 12日, 第一回投票で3位落選となる見込みのアジャボン(M.Sebastien AJAVON)候補が, 決選投票におけるタロン候補支持を発表した。(14日, La Nation 紙)
- 13日, 憲法裁判所は以下の通り第一回投票暫定結果を発表した。20日の決選投票に進むのはザンス候補及びタロン候補となった。(14日, La Nation 紙)

有権者数:4, 746, 348人	有効投票数:3, 018, 458票
投票者数:3, 134, 988人	投票率:66. 05%

(上位5名)

1	リオネル・ザンス(M.Lionel ZINSOU)	858, 080票
2	パトリス・タロン(M.Patrice TALON)	746, 528票
3	セバスチャン・アジャボン(M.Sébastien AJAVON)	693, 084票
4	アブドゥライ・ビオ・チャネ(M.Abdoulaye BIO TCHANE)	262, 389票
5	パスカル・イレネ・クパキ(M.Pascal Irenée KOUPAKI)	177, 251票

- 14日, 第一回投票で4位落選となったビオ・チャネ候補が, 決選投票におけるタロン候補支持を発表した。(15日, La Nation 紙)
- 14日, 第一回投票で5位落選となったクパキ候補が, 決選投票におけるタロン候補支持を発表した。(15日, L' Evénement Précis 紙)
- 15日, CENA より決選投票に向けた選挙キャンペーンの開始が宣言された。選挙キャンペーンは18日深夜まで。(16日, La Nation 紙)
- 17日, ザンス候補とタロン候補は, 生放送で90分にわたり行われた, 一対一の大統領選挙決選投票候補者テレビ討論会に出演した。(18日, La Nation 紙)
- 20日, 決選投票が実施された。一部では2重投票や未成年による投票など, 不正の試みが見られたものの, 概して第一回投票以上に平穏かつ透明に行われた。(21日, La Nation 紙)
- 21日, CENA は決選投票の大勢結果を発表し, タロン候補がザンス候補を大きく上回る得票を得たとした。(22日, La Nation 紙)
- 21日未明, ザンス候補はタロン候補に対し, 電話でタロン候補の勝利を認めると共に祝意を表した旨自身のフェイスブックページ上で発表した。また, 同候補は4月7日以降, ベナンにおいてアフリカ投資ファンドを立ち上げる計画を再開する予定である旨, 自身のツイッター上

で発表した。(22日, Le Matin Libre 紙)

- ・ 21日, ECOWAS 選挙監視団は決選投票に関し, それぞれの候補者の中でヘイトスピーチなどの攻撃的な選挙活動は見られず, 平和裏に実施されたと評価した。また, 今次選挙の実施に関し, ベナン国民の成熟した民主主義の精神に敬意を表した。(22日, La Nation 紙)
- ・ 22日, ウンベジ(M.Adrien HOUNGBEDJI)国民議会議長が党首を務める政党 PRD は, 今後の政権運営に際してタロン氏に協力していくとした。(23日, La Nation 紙)
- ・ 24日, 国連事務総長特別選挙監視団は記者会見を開き, 平和裏に行われた今次選挙は民主主義の手本になるものであるとし, ベナン国民に根付いた民主主義の精神に敬意を表した。(25日, La Nation 紙)
- ・ 25日, 憲法裁判所は以下の通り決選投票暫定結果を発表した。今後5日間の異議申立期間が設けられる。(29日, La Nation 紙)

有権者数:4, 746, 348人	有効投票数:3, 017, 002票
投票者数:3, 138, 624人	投票率:66. 1271%

1	パトリス・タロン(M.Patrice TALON)	(有効票数)2, 030, 941票
2	リオネル・ザンス(M.Lionel ZINSOU)	(有効票数)1, 076, 061票

- ・ 30日, 憲法裁判所は, 5日間の異議申立期間中に一切の異議申立等はなかったことから, 次期ベナン共和国大統領にパトリス・タロン候補が選出された旨正式発表した。(31日, La Nation 紙)

【治安】

- ・ 14日, 保健省はラッサ熱による死者が24名に達したことを発表した。感染の疑いがある患者は死者を含めて47人に上っている。(16日, La Nation 紙)
- ・ 14日, コトヌ市のバンク・オブ・アフリカ・アイジエド支店に武装強盗が押し入り, 現金約2, 000万 FCFA を強奪した。強盗団は逃亡中に警察と銃撃戦となり, リーダーは射殺, 他のメンバーは逮捕された。(15日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 17日・19日コトヌ空港で計89キロの薬物(エペドリン・メタンフェタミン)を所持していた南アフリカ人女性とザンビア人男性の2名が逮捕された。(25日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 17日, ナイジェリア国境付近のセメ・カラケ市で銀行強盗が発生, その後治安維持部隊が海岸から船で逃走しようとしていた強盗団と銃撃戦を展開, 強盗団は船を置いて逃走した。船にはカラシニコフや手榴弾などの武器が残されていた。(18日, Le Matinal 紙)
- ・ 23日, ボイコン市の棉花開発公社(SODECO)の倉庫で火災が発生, 綿花約50トンが焼失した。火災の原因は今のところ不明。(24日, Le Matinal 紙)

【外政】

- ・ 2日, アザンデ(M.Placide AZANDE)内務大臣はコトヌ市にダンバザウ(M.Abdulrahman Belo DAMBAZAU)ナイジェリア内務大臣を迎え, 国境地帯を中心とした両国の安全保障について話し合った。(3日, La Nation 紙)
- ・ 7日, 日本大使館で行われている「日本の現代写真」写真展のレセプションが催された。また, 19日にはドイツ人写真家クーラー(M.Stepan Köhler)氏が約20名の子供達を連れて日本大使館を訪れ, 子供達に写真家としての視点を教えた。(10日, Le Matin Libre 紙・21日, La Nation 紙)
- ・ 8日, アカディリ(M.Saliou AKADIRI)外務大臣と塚原駐ベナン日本国大使は, 「グラズエ市及びダッサズメ市に於ける地下水を活用した飲料水供給計画」にかかる交換公文への署名を行った。本プロジェクトは約60億 FCFA に上る。(9日, La Nation 紙)
- ・ 21日, オランド仏大統領は, CENA の大勢結果を受けて, 次期大統領に選出される見込みのタロン候補へ祝意を表明する旨メッセージを発出した。(22日 L'Événement Précis 紙)
- ・ 21日午後, ヤイ大統領は政府専用機でパリに向け出発した。今次パリ訪問の目的は不明だが, 仏政府関係者との話し合いのためと思われる。(22日, Le Matinal 紙)
- ・ 22日, 元開発大臣のドウ・スザ(M.Marcel Alain DE SOUZA)国民議会議員がヤイ大統領により ECOWAS 委員長に指名された(当館注: ベナンは2016-2018年の ECOWAS 委員長国。ECOWAS による正式な承認は今後行われる)。これにより, 同議員の代理人であるアジョビ(M.Justin ADJOVI)コトヌ市第13区長が国民議会議員となる。(23日, La Nation 紙)
- ・ 23日, 国連事務総長特別選挙監視団がテヴォエジュレ(M.Albert TEVOEDJRE)教授を表彰し, 同教授がイニシアティブを取り進めている宗教間対話推進の取り組みへの協力を約束した。(24日, La Nation 紙)
- ・ 28日, タロン候補はニヤシンベ・トーゴ大統領を訪れ, 4月6日行われる大統領就任式は質素に行いたいため, 国家元首級の出席は遠慮して欲しいと伝えた旨自身のツイッターで公表した。(29日 L'Événement Précis 紙)
- ・ 30日, ベナン政府と在ベナン中国大使館は, コトヌ市マチュー・ケレク友好スタジアムの改修に関する協力協定に署名した。(31日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 31日, 外交団長であるオビサキン(M.Lowrence Olufemi OBISAKIN)駐ベナン・ナイジェリア大使の離任に際し, ヤイ大統領と外交団の昼食会が大統領府で催された。同大使は, 「以前は4社しか行っていなかった対ナイジェリア輸出が現在は28社まで増加するなど, ベナン・ナイジェリア経済関係は着実に発展している」とした。(4月1日, La Nation 紙)

【経済】

- ・ 15日より, パラク国際空港の開港に向け, 17日に予定されているアフリカ・マダガスカル航空安全局(ASECNA)機の試験飛行のための最終調整が開始された。本空港の総工費は約300億 FCFA。(16日, La Nation 紙)

- ・ 23日、ベナン及びルワンダの両運輸大臣が相互航空サービス協定に署名した。これにより、近い将来ルワンダのナショナル・フラッグ・キャリアであるルワンダ航空がコトヌ・キガリ間の直行便を就航させる可能性がある。(24日、La Nation 紙)
- ・ 30日、ベナン政府は、3,000万ユーロ(約200億 FCFA)に上る EU の電力分野・市民社会強化分野における協力協定に署名した。約120億 FCFA が電力分野に、80億 FCFA が市民社会強化分野に充てられる予定。(31日、La Nation 紙)
- ・ 29-31日、ナイジェリアにおけるガソリンの不足から生じた違法ガソリン価格の高騰により、正規のガソリンも手に入りづらい状況が続き、各地のガソリンスタンドには長蛇の列ができた。(4月1日、La Nation 紙)